

2012年9月20日

報道関係者各位

アットホーム株式会社

トレンド調査

—都内に勤務する20代社会人対象“自宅と会社の理想の距離と近隣住宅手当”についての調査—

自宅と会社との距離は、時間で「24分」駅数で「5駅」離れていたい ただし「手当が出るなら会社の近く（2駅以内）に住んでもいい」93.4%

不動産情報サービスのアットホーム株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：松村 文衛）は、都内に通勤する一人暮らしの20代OL・サラリーマン600名を対象に、“自宅と会社の理想の距離と近隣住宅手当”についてアンケート調査を実施しました。

本調査では、自宅と会社との理想の距離は、時間で「24分」、駅数では「5駅」離れていたい（共に平均値）と考えていることが分かりました。ただし、「5駅」以上離れていたいと回答した人でも、会社の近くに住むことを条件として支給される「近隣住宅手当」の制度が利用できるなら、「会社の近く（2駅以内）に住んでもいい」との回答が93.4%にものぼり、またその場合の手当として、「45,568円（平均）を支給してほしい」ということも明らかになりました。

20代のOL・サラリーマンが仕事とプライベートを切り替えるために、会社とは「ある程度の距離を保ちたい」と考えている一方、手当が出るのであれば会社の近くに住んでも構わないといった意識があることなどが分かりました。

■ 主な調査結果

- 自宅と会社との距離、時間で「24分」、駅数では「5駅」離れているのが理想
- 「5駅以上離れていたい」と回答した人でも、「手当が出るなら会社の近く（2駅以内）に住んでもいい」93.4% その場合の希望支給額は45,568円
- 会社の近くに住むことを条件として支給される「近隣住宅手当」を知っている9.5%、あれば利用したい76.7%

■ 調査概要（クローズド調査）

◆対象／1都3県在住で、東京都内に勤務していて、賃貸住宅で一人暮らしをしている、20代OL・サラリーマン
計600名（男女各300名）

◇居住地

東京都	79.7%
神奈川県	6.7%
埼玉県	6.5%
千葉県	7.2%

◇居住形態

賃貸マンション	61.5%
賃貸一戸建て	0.7%
賃貸アパート	37.5%
公営・公団住宅	0.3%

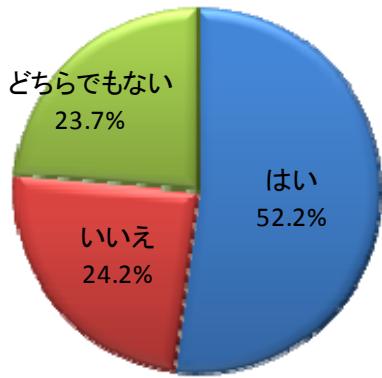
◆調査方法／インターネットサーチ

◆調査期間／2012年8月17日（金）～8月21日（火）

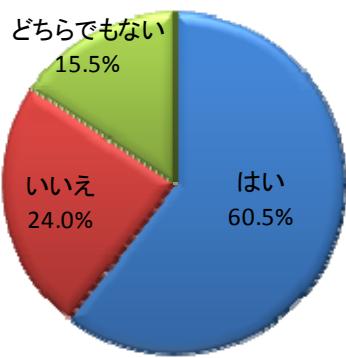
～調査結果～

■ 自宅と会社は、ある程度離れていたい 52.2% 時間では「24分」、駅数では「5駅」離れているのが理想

- 自宅と会社は、ある程度離れていたいですか？(対象:600名)

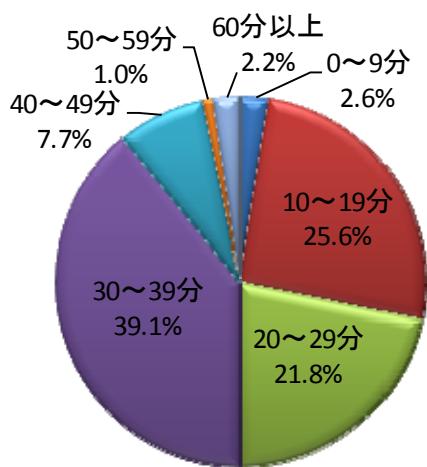


- 休日は会社に近づきたくないと思うことはありますか？(対象:600名)



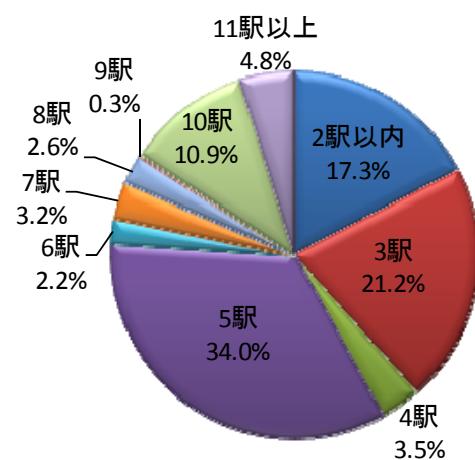
自宅と会社はある程度離れていてほしいかという問い合わせに対し、半数以上が「ある程度離れていたい」と回答しました。また、休日は会社に近づきたくないと思うことはありますかという問い合わせに対し、60.5%が「はい」と回答。プライベートと仕事をきっちり分けたいと考える人が多いようです。

- 時間でいうと、何分離れていたいですか？
(対象:312名)



平均:24分

- 駅数でいうと、何駅離れていたいですか？
(対象:312名)



平均:5駅

「自宅と会社はある程度離れていたい」と回答した 312 名に対し、時間でいうと何分離れていたいか聞いたところ、「30~39分」との回答が最も多く 39.1%。平均は「24分」となりました。また、駅数では「5駅」との回答が 34.0% で最多となり、平均も「5駅」となりました。「近ければ近いほどいい」という訳ではなく、「24分」「5駅」が、仕事とプライベートの切り替えができる理想の距離と言えそうです。

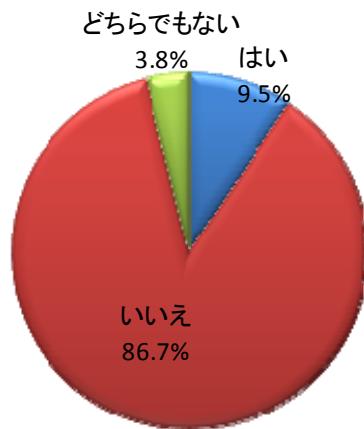
■ 「近隣住宅手当制度」の認知度、わずか 9.5% 勤務先に「近隣住宅手当制度」があったら利用したい 76.7%

「近隣住宅手当制度」とは…

会社から一定の距離圏内に住む従業員に対し、手当(補助金)を支給する制度。例えば、「会社から 2km 圏内に住むことを条件に、住宅手当に加え、毎月 4 万円を支給する」など、会社の近くに住むことで、通勤による負担を減らし、コンディションの良い状態で業務にあたらせることで効率を上げるといった目的で新設する IT 系の会社も出てきています。

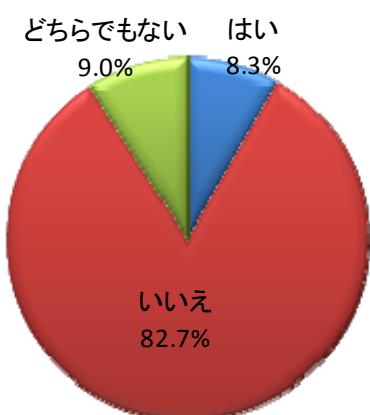
● 「近隣住宅手当制度」を知っていますか？

(対象:600 名)



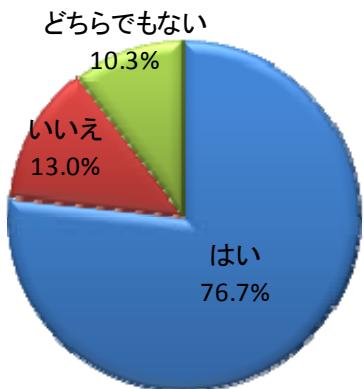
● 会社に「近隣住宅手当」の制度はありますか？

(対象:600 名)



「近隣住宅手当制度」を知っているかという問い合わせに対し、「はい」と回答した人はわずか 9.5%。また、「会社に同様の制度がある」との回答も 8.3% に留まりました。まだ採用する企業は少なく、OL・サラリーマンの認知度も低い様子がうかがえます。

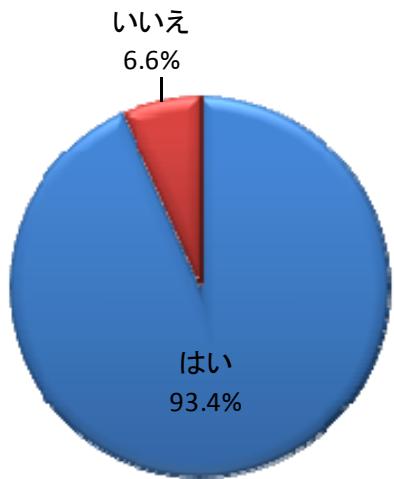
● もしも会社に「近隣住宅手当」の制度があったら利用しますか？(対象:600 名)



もしも今勤めている会社に「近隣住宅手当」などの制度があったら利用するかという問い合わせに対して、「利用する」と回答した人の割合は 76.7% にも上りました。まだあまり浸透していない制度ではありますが、魅力的に思う人は多いようです。

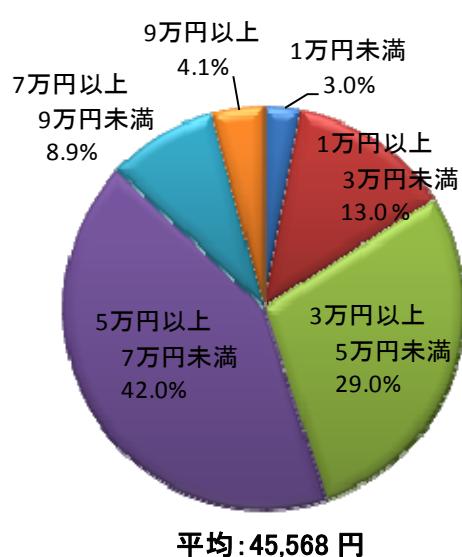
■ 会社との「理想の距離」は5駅だが、手当が出るなら会社の近く（2駅以内）に住んでもいい 93.4%

- 2ページの設問で、「自宅と会社との距離は5駅以上離れていたい」と答えた方にお聞きします。もしもあなたの会社に「近隣住宅手当制度」があったとして、手当支給の条件が、「会社から2駅以内に居住すること」であった場合、2駅以内に住みますか？（対象：181名）



「会社との距離は最低5駅以上離れていたい」と回答した人に、「近隣住宅手当制度の条件が『会社から2駅以内に住むこと』であった場合、利用する」と答えた人は、93.4%。まだまだ景気が低迷している世の中で「会社との理想の距離」よりも、「少しでも家賃負担を軽減したい」と考えるOL・サラリーマンが多いようです。また、「いいえ」と回答した12名に理由を聞いたところ、「プライベートな時間に会社の人に会いそう」「休みの日も呼び出されそう」「休日は会社に近づきたくない」などの意見がみられました。

- 「手当が出るなら2駅以内に住む」と答えた方にお聞きします。支給額はいくらが理想ですか？（対象：169名）



「手当が出るなら2駅以内に住む」と答えた方に理想的な支給額を聞いたところ、平均45,568円という結果になりました。

ちなみに、上記回答者の中で現在、従来の住宅手当を支給されている79人に支給額を聞いたところ、平均は24,759円でした。それに比べると、近隣住宅手当に望む金額はかなり高くなっています。会社の近くに住むことに対する心理的負担や、会社周辺は家賃相場が高めのエリアが多いので実質家賃負担が増える可能性が高いことなどから、通常の住宅手当より多めの金額を支給してほしいと考える人が多いかもしれません。